

National Clinical database を基盤とした DPC・レセプトなど医事データの収集と研究利用

当院では、National Clinical database (NCD) が実施するデータベース事業に参加しています。この事業は、日本全国の手術・治療情報を登録し、集計・分析することで医療の質向上に役立て、患者さんに最善の医療を提供することを目的としたプロジェクトです。

研究参加と情報提供についての公開情報

試料・情報の利用目的及び提出方法 ；

H29 年度より、NCD の情報を元に、参加病院から DPC・レセプトなど保険請求情報を収集しデータベースを構築する事によって、NCD の臨床症例データに、薬剤や医療機器など医療資源の利用情報を追加し、医療の質や資源の利用実態を評価できる基盤を構築する事が目的です。

DPC 研究支援機構へ提出しているデータを、DPC 研究支援機構から提供

利用し、又は提供する試料・情報の項目 ；

H27 年 4 月以降の DPC データ。検査・治療内容・薬剤の種類等でカルテ番号・名前・住所などの個人情報提出されません。

利用する者の範囲 ；

一般社団法人 National Clinical database 事務局

研究責任者

東京大学 医療品質評価学寄付講座

特任教授 宮田 裕章

試料・情報の管理についての責任者 ； 総合病院水島協同病院 院長 里見和彦

なお、NCD へのデータ登録については、登録を希望されない場合は、登録を拒否していただくことができます。登録を希望されない方、相談等のある方は、医療情報管理課までお問い合わせください。